

1. はじめに

日本の傘の消費量は年間約1億3,000万本と推定されており、そのうち6割以上はビニール傘です。ビニール傘は、まだ使える状態にもかかわらず廃棄されているものが多く、資源の無駄遣いになっています。また、日本では突然の雨が降ったときなどに、コンビニや駅でビニール傘を一度きりの使用目的で購入する光景が当たり前になっています。ビニール傘1本あたりのプラスチックをCO₂に換算すると約692グラムになるため、この行為は想像以上に大きな環境負荷を生んでいます。このような問題を解決するために、「傘はみんなでシェアする」ことを当たり前に変えていくアプリ「パラシェア」を提案します。このシステムにより、傘をシェアする文化への転換、使い捨て傘の抑制を目指すことができます。

2. システム概要

本システムは、「傘を持て余す人」「傘が必要な人」、そして傘置き場を提供する「店舗・施設」の三者にメリットが生まれる仕組みです。パラシェア専用の傘置き場にQRコードシールが入ったBOXを設置します。傘を持て余した人はその傘にQRコードシールを貼り、QRコードをアプリで読み取り、「旅傘」として登録できます。今すぐ傘が必要な人は旅傘についてQRコードを読み取ることで「傘と旅する」ことができます。傘は、旅傘や傘置き場の位置を記憶し、傘が少ない傘置き場においたりすると「ナイスシェアポイント」をもらえます。必要なくなるとアプリ内のボタンを押すことで「傘の旅を終える」ことができます。

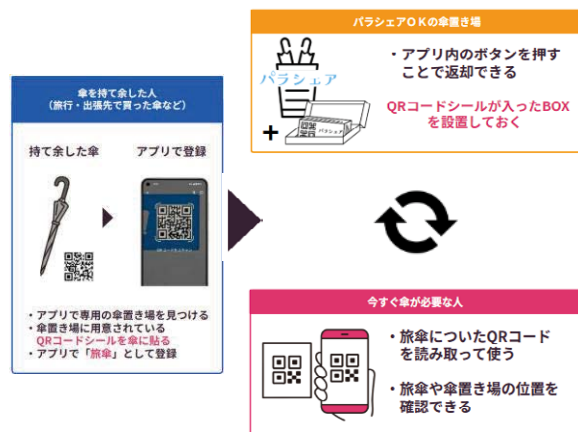
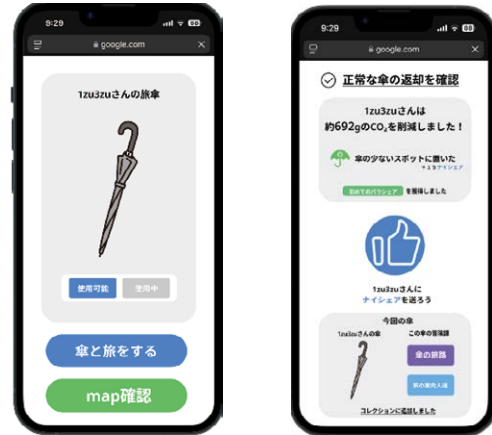


図1 システム概要図

2.1 傘と旅する機能

傘のQRコードから画面1に移動します。「傘と旅する」ボタンを押して傘を使います。使い終わったら「傘と別れる」ボタンを押して画面2に移動します。使う旅傘は記録されているデータを冒険譚として見ることができます。



画面1

画面2

図2 傘と旅する機能のアプリ画面

2.2 旅傘を誕生させる機能

BOX内に用意してQRコードシールを傘に貼ります。QRコードを読み取って画面3に移動します。「旅傘誕生」ボタンを押すと新たな旅傘を生成できる。QRコードを貼り付け、登録するだけなので誰でも手軽に行えます。また、自分の旅傘がどれだけ使われているか、どれだけ貢献できているかなどの活躍をスマホで確認できます。



画面3

画面4

図3 旅傘を誕生させる機能のアプリ画面

2.3 ナイスシェアポイント機能

ナイスシェアポイントは、「旅傘」を生成したり、傘が少ない場所に返却したりしてナイスシェア（画面1）を貰うと貯まるポイントです。ナイスシェアポイントは傘を返却しないと貰えないので傘が返却されない問題も防ぎます。ポイントを集めてランキング上位になるなどの条件を満たすことで「称号」が貰えます。称号は、活動の証としてモチベーションとなります。

3. おわりに

ユーザー同士で傘をシェアし合うアプリ「パラシェア」を通じて、傘の無駄な廃棄をゼロにし、持続可能かつ便利な社会の実現を目指していきます。